

www.sma-labo.jp

ベトナムオフショア開発サービス

スマラボのご紹介

www.sma-labo.jp



目次

1. 会社概要およびスマラボについて
2. COBOL オフショアサービスについて
3. ご検討のステップ
4. 補足資料

1. 会社概要及びスマラボについて

会社概要

商号	株式会社アイディーエス
設立	1996年12月(設立27年)
売上高	32億円(2023年6月期)
主要事業	<ul style="list-style-type: none">・システムインテグレーション事業・AWS総合支援事業(Sunny Cloud)・オフショアラボ事業(スマラボ)・システムエンジニアリング事業・マスタメンテナンス機能特化型 SaaSサービス(SMOOZ)
本社	〒105-0014 東京都港区芝2-3-18 YM芝公園ビル5階
関係会社	IDS Vietnam Co., Ltd (100%子会社:オフショア全般) Floor 4, NTA Building, 171-173 Dien Bien Phu Street, Da Kao Ward, District 1, Ho Chi Minh City System Sustainability Vietnam Joint Stock Company (関連会社: COBOL専門会社) 2 Floor, Louis Apartment Building No 30, Dai Lo Le Loi Street, Dong Hung Ward, Thanh Hoa City
従業員数	154名(2023年8月末時点) 株式会社アイディーエス: 89名、IDS Vietnam: 65名
代表者	中野 貴志 (代表取締役)

株式会社アイディーエス(日本)の事業概要

www.sma-labo.jp

お客様

ソリューション事業部

システムインテグレーション

受託開発・一括請負型

業務システム開発
Webアプリケーション開発
データ分析・データ基盤構築

運用保守

継続的保守開発
アプリケーション保守
インフラ運用
メンテナンス

ヒューマンリソース事業部

常駐型 システム エンジニア リング

派遣契約

PMO

設計
開発
運用
保守
テスト
キッキング
サポート

スマラボ事業部



オフショア ラボ型開発

プロジェクト
コーディネート

IDS Vietnam

開発チーム提供

サニークラウド事業部



AWS総合支援

AWS環境構築

AWS移行

構成監査
(WA-Check)



SMOOZ事業部



自社サービス

次世代
システム
開発ツールの
クラウド
サービス
提供

AWSコスト最適化・請求代行(リセール)・運用(MSP)

2000年

フィリピンや中国のオフショア企業に
自社請負開発案件を依頼

2014年

ベトナムのオフショア企業に
自社請負開発案件を依頼開始

2017年
2月

ベトナム・ホーチミン市に
100%子会社のオフショア開発拠点を設立
“スマラボ”サービスの開始

2024年
1月

一般社団法人ベトナムオフショア開発協会を
立上げ、当社社員が代表理事に就任

2024年
2月

COBOLコンソーシアムに加盟

2024年
5月

ベトナムタインホア省にCOBOL専門の
System Sustainability Vietnamを設立

20年以上のオフショア開発経験を元に、
御社のオフショア活用をサポートいたします。

弊社のオフショア開発サービスは、自社の人財リソースの課題
を解決するところからスタートしています。

2017年に拠点を設立したベトナムは、政府の支援により優秀な
IT人材が豊富(平均年齢32歳、IT従事者100万人)であり、イン
フラ環境に優れ(4G網の人口カバーレッジ95%)、勤勉で親日の
国民性、1/2程度の人件費、日本との時差-2時間など、オフ
ショア拠点として非常に優れております。

私たちはベトナム拠点の設立にあたり、ベトナム人エンジニア
たちと深くコミュニケーションし、共に開発を行う事で多くのナ
レッジを得ることが出来ました。そのナレッジを次は人材課題を
抱える多くの日本企業に対して提供させていただきたいと考え
ております。

スマラボは、日本のシステムインテグレーターによる、 日越ハイブリッド型オフショア開発サービスです

www.sma-labo.jp

Point
1

優秀な開発
チーム

平均年齢34歳と、経験が豊富なメンバーを揃えています

Point
2

コミュニケー
ション
支援

お客様のプロジェクトマネージャーを支援し、プロジェクトの課題を解決するコーディネーターをアサインします

Point
3

AWS
対応可

非機能要件や、AWS運用については日本側のAWS専門チームがサポートいたします

Point
4

業務システムの
対応可能

Webサービスだけでなく業務システムの開発を得意としています

Point
5

豊富な
ネットワーク

複数の業務提携先との連携により豊富なリソース、幅広い要素技術に対応可能です

Point
6

日本法人の
歴史

日本法人は30年近くシステム開発を提供してきた歴史があり、様々な課題解決に注力します

開発事例

BtoB Webサービスの開発

- 企業間取引サイト(B2B EC)
- 飲食業向けB2Bマッチングプラットフォーム
- B2B向けファイル共有サービス
- 報道速報配信システム

BtoC Webサービスの開発

- パーソナルオフィス予約管理サービス
- B2C向けECサイト
- Webサイト(CMS導入)

BtoE 社内システムの開発

- 旅行手配管理システム
- 営業日報システム
- 役所向け申請システム
- 勤怠管理システム
- 治験薬申請システム
- 外国人労働者管理システム
- 食品トレーサビリティ管理システム
- 請求管理システム

CtoC Webサービスの開発

- スキルマッチングサービス

対応可能な要素技術について

	FrontEnd	BackEnd	FrameWork	Infrastructure
当社	Vue.js React.js Next.js Flutter	PHP Python C# Java	Laravel Cake PHP Django Struts	AWS
提携先等	Flutter Angular Next.js	Java Go Lang COBOL		AWS Azure Google Cloud

2. COBOLオフショアサービスについて

COBOLエンジニアの需給状況・予測

COBOLは現存するシステムで最も使われている要素技術だが、

- COBOLエンジニアの高齢化(2025年の壁)
- 現役エンジニアからの忌避感
- そのもののエンジニア不足
- マイグレーションが高コストで非現実的

などから、現在はエンジニアが充足していても数年後に各企業がCOBOLエンジニア不足に陥ると予想されている。

➡ **COBOL人材の確保・育成について、各社が中期経営課題として取り組みを始めている状況**

開発言語	第1回答	比率
a : アセンブラ	1	0.1%
b : COBOL	240	16.3%
c : PL/I	4	0.3%
d : Pro*C	7	0.5%
e : C++	50	3.4%
f : Python	2	0.1%
g : C	83	5.6%
h : VB	58	3.9%
i : PHP	11	0.7%
j : JavaScript	28	1.9%
k : Ruby	1	0.1%
m : PL/SQL	30	2.0%
n : ABAP	3	0.2%
o : C#	112	7.6%
p : Visual Basic.NET	137	9.3%
q : Java	626	42.4%
r : Perl	5	0.3%
s : Shell スクリプト	8	0.5%
t : Delphi	5	0.3%
u : HTML	5	0.3%
v : XML	2	0.1%
w : その他	58	3.9%
合計	1,476	100.0%

オフショアでのCOBOL体制構築のトレンド

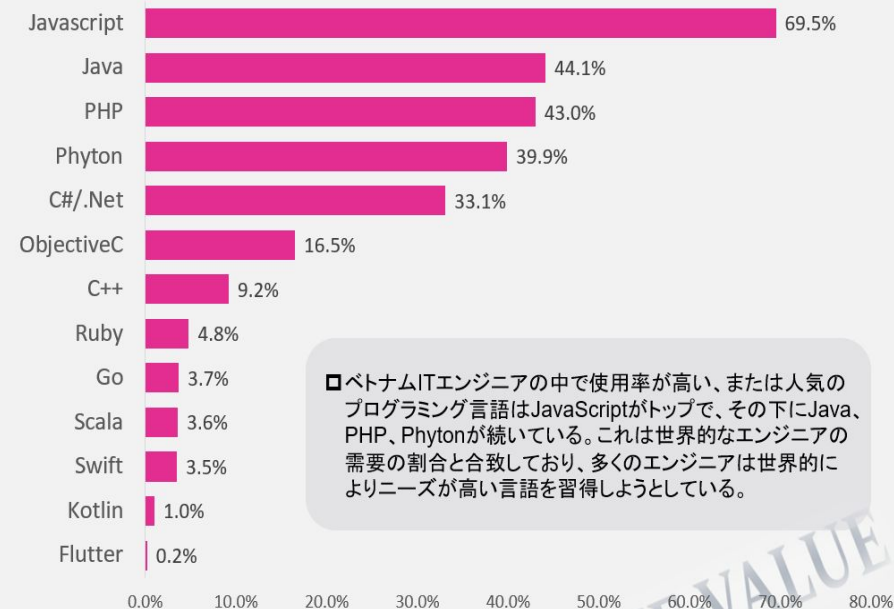
大手SIerの多くが、中国で大人数のCOBOLオフショア体制を構築済みであり、COBOLのオフショアには実績が多くある。

ベトナムでは、IT業界が2000年以降に形成されていることから、COBOLネイティブな世代がない。また、COBOL体制を提供するオフショア開発会社はあったものの、モダンな技術を好む若いエンジニアが多いことから継続性に課題があった。

そのため、比較的モダンな技術ならベトナム、COBOLを実施するなら中国というのがトレンドであった。

一方で、現在は政治的理由やコスト面から脱中国(Exit China)、あるいは、リスク分散の観点から他国(China plus one)での拠点設立を目指す会社が現れてきており、ベトナムでかつて実現できなかったCOBOL体制構築を検討する会社が増えてきている。

ベトナムITエンジニアが用いるプログラミング言語



出所: 「2020年のIT市場についての調査」TopDv. (2019)

当社が実現すること

確実に発生する「COBOLエンジニア不足に伴うシステム保全の危機」という経営課題に備え、ベトナムにおけるCOBOLエンジニアの集約し、また、若手COBOLエンジニアを永続的に発掘・提供するスキームを実現いたします。

- ✓ ベトナムでのCOBOLエンジニア確保によるお客様向けのCOBOL開発体制構築
- ✓ 永続的に若手COBOLエンジニアを確保／育成できる仕組みの提供
- ✓ 将来のオフショア拡大に向けた御社内でのベトナムオフショアのナレッジ獲得

**COBOLエンドユーザ様に向けてシステムインテグレーター様と共同で、
中長期に継続可能なCOBOL開発体制を構築することを目指しています。**

COBOL特化型オフショア開発サービスについて

当社の子会社であるSystem Sustainability Services Vietnamでは、**ベトナム国内における唯一のCOBOL特化型企业**としてCOBOLエンジニアの発掘・教育・管理プロセスを構築しておりお客様専門のCOBOLチームを、低コストで継続的・長期にわたり担保可能です。

豊富な人材供給

- ・Hong Duc大学の情報系学部との提携
- ・インターン生の採用
- ・当社への優先採用

COBOL教育体制

- ・大学内活動としてのCOBOL教育
- ・インターン生としての開発実務教育
- ・COBOL実務経験者による教育

管理プロセス

- ・COBOL経験者による品質管理
- ・長期に渡るオフショア管理の経験とプロセス化



Hong duc大学:1997年設立の公立大学。タインホア省で最もレベルが高く、12,000人の学生がいる。情報系の卒業生は毎年250人程度。

タインホア省について

面積 11,132 km² (ベトナムで5番目)

人口 3,716,430人(2021年、ベトナムで3番目)

アクセス: ハノイから高速道路で2.5時間

ホーチミンから飛行機で2時間弱

GDP 成長率: ベトナムで5位(北中部地域の最高成長率)

企業総数: 14,088社(ソフトウェア会社:約20社)

提携大学: Hong Duc大学(学生数:12,000人)

情報系学部:250人/年

→ IT企業不足から、IT企業への就職率は40%程度
毎年およそ150人がそれ以外の仕事に就く
(地元志向が非常に強く、他地域への転出はほぼしない)



新卒採用時の教育体制



Hong Duc大学内での教育

大学カリキュラム
(1年～2年生)

- ✓ システム開発とは
- ✓ プログラミング基礎

大学カリキュラム
(3年生)

- ✓ プログラミング実践
(C#, .Net, Java)

- ✓ COBOL
プログラミング基礎
プログラミング実践

追加活動(100h程度を想定)

3度の選抜による優秀層の確保

選抜

3年生後半～4年生前半

選抜

System Sustainability Vietnam内での教育

卒業

インターン受け入れ

- ✓ COBOL実務教育
- ✓ 品質管理教育

- 社会人教育、品質管理教育、日本語教育、ビジネスマナー教育

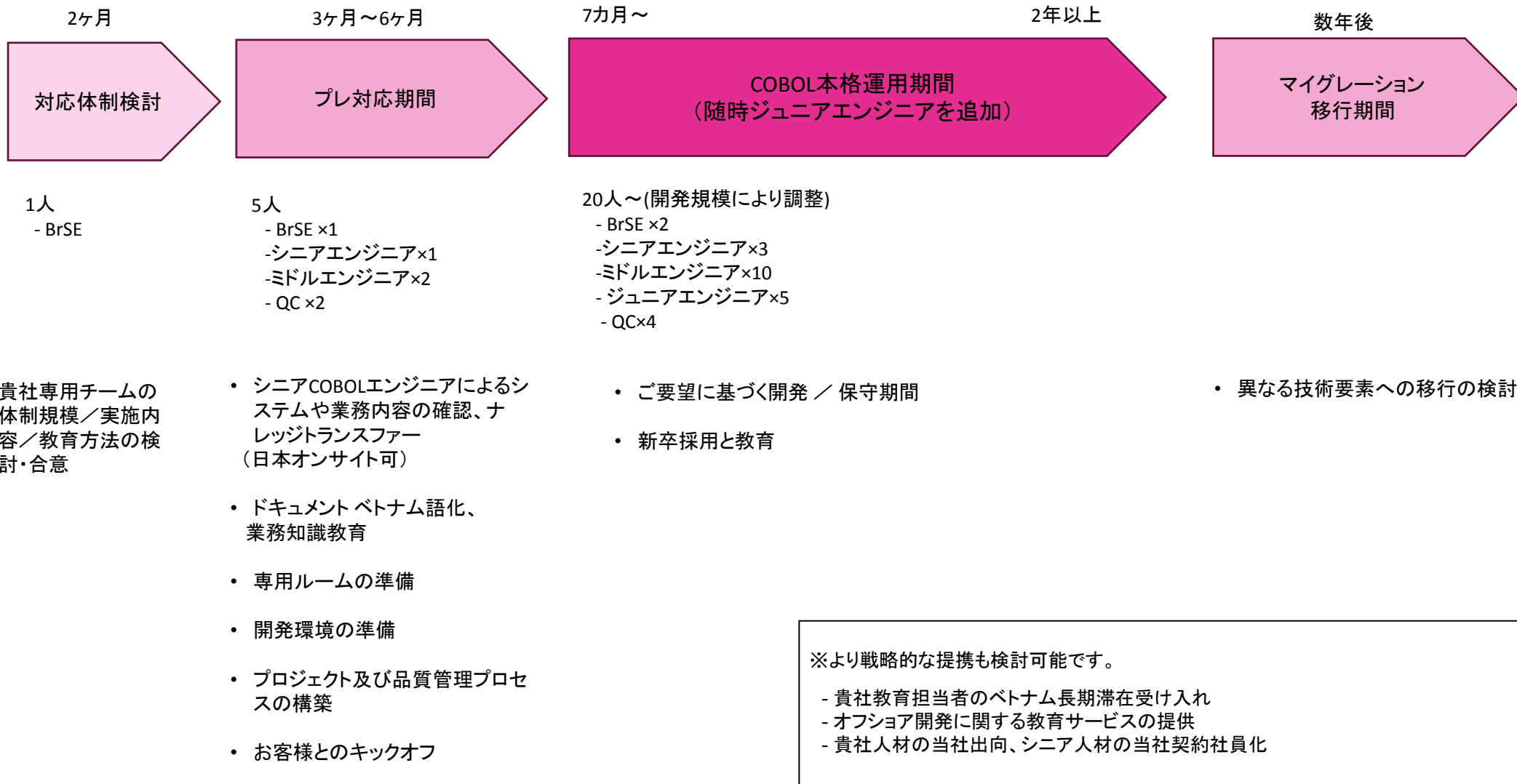
正社員受け入れ

- ✓ COBOL実務教育
- ✓ 品質管理教育

- ✓ ビジョン教育
- ✓ 金融業務教育

選抜

サービス提供イメージ

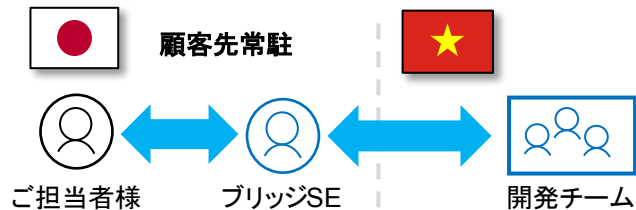


※より戦略的な提携も検討可能です。

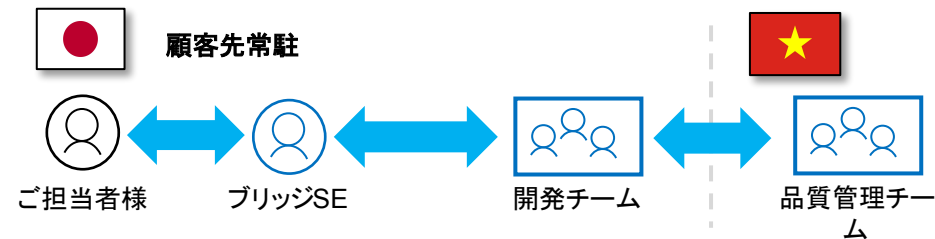
- 貴社教育担当者のベトナム長期滞在受け入れ
- オフショア開発に関する教育サービスの提供
- 貴社人材の当社出向、シニア人材の当社契約社員化

体制提供イメージ

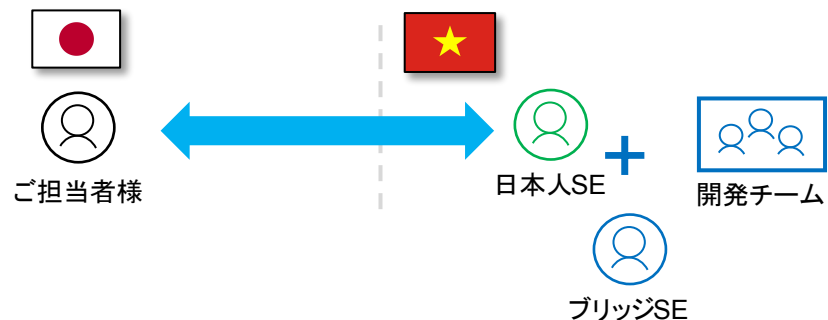
①ベトナム人ブリッジSEがオンサイト常駐



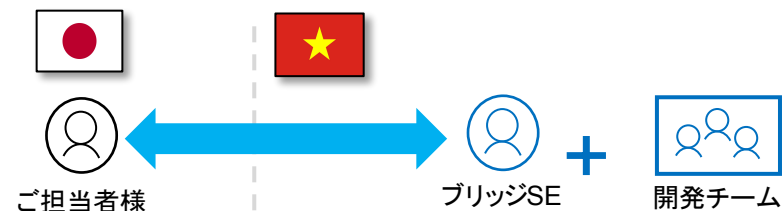
② 開発チーム自体が一定期間日本に常駐



③ 貴社SEがベトナムに常駐し業務指示



④ 遠隔によるベトナムチームへの直接指示





エンドユーザ企業様

- ✓ COBOL資産を永続的に利用でき、マイグレーションのための投資が必要なくなる
- ✓ 必要な改修の際に、対応可能なリソースを確保可能



システムインテグレーター様

- ✓ COBOLの開発チームを確保することで、ビジネス上の優位性の確保とビジネス拡大を図れる
- ✓ 自社のリソースをより付加価値が高い領域に転換できる
- ✓ オフショア開発のノウハウ獲得



学生

- ✓ IT業界への就職でき、安定的な仕事に就ける
- ✓ 日系企業であり、地方では比較的高賃金で、安心して働くことができる



Hong Duc大学

- ✓ 就職率の向上によりブランド力向上
- ✓ 無償で良質な教育体制が整う
- ✓ 採用コミットがあり、学生を募集しやすい



タインホア省

- ✓ 省の知名度向上
- ✓ ICT産業拡大のきっかけ
- ✓ タインホア省からの人材の流出防止

3. ご検討のステップ

ご検討のステップ

■Step1 貴社社内・お客様との調整

ベトナムオフショア開発に関する関係者への社内セミナー／説明会の実施〈無償〉
(エンドユーザ企業様もぜひお誘いください)

■Step2 現地確認

ベトナム現地視察
(出張実費のご負担をお願いしております)

■Step3 切り出し部分の具体的な検討

ニーズアセスメント&課題検討〈無償〉
(ユーザ企業様及び自社において、のエンジニア不足に予測とシミュレーション
及び案件開始後の想定課題と解決策の検討)

■Step4 貴社内・お客様との確認

スタート方法の検討、概算お見積り〈無償〉
(範囲、切り出し方、ご担当者様選定)

■Step5 オフショア導入判断

実施可否のご判断

視察ツアーのご案内

<視察ツアー開催候補日>
2024年7月14-18日

<モデルスケジュール>

日程(4泊5日)	内容
Day1	ハノイ ノイバイ空港 到着
Day2 AM	SanAn Corporation/Software 視察
PM	ハノイ市内視察:ベトナム発展地域の視察、ローカル地域の視察
夕食	ブリッジSEとの懇親会
Day3 AM	タインホアへの移動(車で3時間程度)
PM	市内視察 HongDuc大学見学 System Sustainability Vietnam 見学
夕食	大学の情報系教授等との懇親会
Day4 AM	市内視察～ ホーチミンに移動
Day4 PM	IDS Vietnam 視察 オフショアプロセスの紹介 ディスカッション JETRO(日本貿易振興機構訪問)、ベトナム経済レクチャー
Day5	自由行動、日本に向けてご出発

<ツアー概要>

- ・JETRO訪問/ベトナムの経済や投資状況のレクチャー
- ・企業視察/①オフショア開発におけるリスクやプロジェクト管理方法
②当社以外のIT企業、人材提供企業
- ・IT環境/ITに関する地方の取り組みに関する紹介
- ・大学訪問/大学におけるITC教育の内容紹介
- ・ベトナムについて/主要都市の現地視察等

<視察費用について>

- ・当社アレンジ部分については、費用は頂戴していません。
(空港送迎、移動費用、各種アレンジ費用)

<お客様ご負担費用概算>

合計:12万円~20万円程度

- ・航空券 8万~12万円程度(エコノミークラス)
- ・ホテル 0.5万~1.5万円×3泊 程度(4つ星クラス)
- ・保険 0.3万円程度
- ・現地費用 2~3万円程度(お土産、その他個人的な飲食費等)

<お客様ご準備事項>

- ・パスポートの取得
- ・航空券のご予約
- ・ホテルのご予約
- ・海外旅行保険への加入
- ・任意の各種ワクチン接種
- ・お土産やお飲み物など、個人的な物品等購入に必要なお金
- ・携帯用SIMなど

4. 補足資料

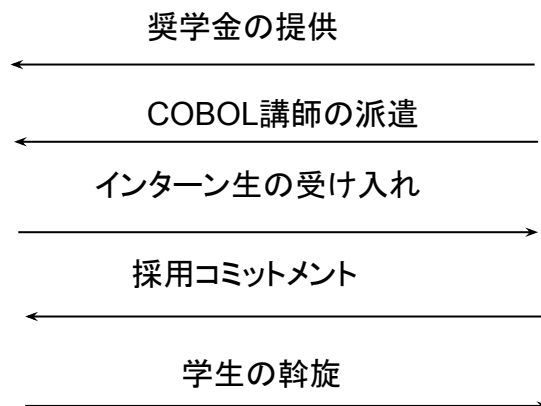
Hong Duc 大学との提携、SanAn社との業務提携

www.sma-labo.jp

Hong Duc大学との業務提携(MOA)により、優秀なIT人材を継続的に輩出・確保可能なスキームを構築しています。



年間、最大数十人での採用が可能です



営業・マーケティング
オフショア運営ノウハウ



共同出資による新会社
System Sustainability Vietnam



SANAN

オフショア運営
ベトナム人COBOLエンジニア確保
品質管理サービス提供

株式会社SanAn Connect(日本法人)
SanAn Software(品質管理専門会社:タインホア)
SanAn Corporation(会社運営機能:ハノイ)

■対応可能な要素技術/人材例

ポジション	要素技術	年齢	日本滞在	経験業界	対応可能範囲
Leader/BrSE	IBM COBOL Open COBOL DB2/Oracle JCL	37	2年 日本語会話可	証券	詳細設計～
Senior Developer	IBM COBOL DB2 JCL	34	1年 日本語読み書き可	生命保険	コーディング・単体テスト
Middle Developer	Open COBOL Oracle JCL	32	無し	生命保険	コーディング
Junior Developer	Open COBOL	26	無し	証券	コーディング

※上記はベトナム人エンジニアです。専門知識に関して、必要に応じて日本人エンジニアのアサインも検討可能です。

■セキュリティ

各案件ごとのセキュリティポリシーに準じた環境を構築します。
各種セキュリティ監査にも対応いたします。

項目	対策
オフィス環境	指紋認証による入退室管理 セキュリティカメラによる録画
業務環境	お客様毎に専用の作業部屋の準備 関係者以外の立ち入り禁止(指紋認証)
PC環境	専用機の設置 持ち去り防止コードの設置 BIOSレベルでのパスワード 操作ログの記録
ネットワーク	お客様環境との専用線/VPN接続 ネットワークログの取得 社内回線との分離
認証	ISMSの取得・運用(計画中)
セキュリティ教育	四半期ごとのセキュリティ教育
リモートワーク	開発者はリモートワーク原則禁止 (設計者/PM等の一部リモートワーク)

ありがとうございました

- www.sma-labo.jp



益 / 柴田



03-5484-7811



smalabo@ids.co.jp